



連合島根・中部地協の皆さまへ

地協を代表しご挨拶申し上げます。

皆さま、令和4年もはや1ヶ月が過ぎてしまいました。本来であれば、中部地協主催の2022年春季生活闘争開始宣言集会と新春旗開きを開催し、皆さまに年頭に当たってのご挨拶を申し上げます。予定としていました。しかし新型コロナウイルス感染症が全国的にまん延し、県内でも感染拡大傾向となり、安心して参加頂ける状況ではなく中止の判断をいたしましたので、機関紙でのご挨拶とさせていただきます。

まずは、新型コロナウイルス感染症についてです。現在も猛威を振るって全国的にまん延しています。県内でも連日100名を超える感染者数が報道され、それに伴い、島根県では初めての「まん延防止等重点措置」が1月27日(木)から2月20日(日)までの期間適用されることとなりました。

ご自身や周りの方、そして地域を感染拡大から守るため、それぞれの日常生活において、ご自身の生活に合った「新しい生活様式」を実践し、身近な予防対策を継続することが重要です。さらに島根県からの情報や対応指示等にも注視し、耳を傾けることも必要であると考えます。そして、誰もが感染し易い状況であることを認識し、感染した人を決して特別視しないことが大切であり、万が一感染しても早期に日常生活に戻れることが出来る環境作りに努めていかなければなりません。少しでも早く平穏な日常生活を取り戻せるように願っております。

次に2022年春季生活闘争についてです。国内外の経済情勢は、2020年は新型コロナウイルス感染症の影響でマイナス成長となりましたが、ワクチン接種などの公衆衛生対策と、大規模な財政支出により2021年度にはプラス成長に転じ回復にむかいつつあります。世界経済に目をむけますと2021年度は5.9%、2022年度は4.9%の成長見通しがあります。

日本経済においても、2020年4月～6月を底に持ち直し基調に入り、海外経済の回復による輸出増の影響から、2022年度にはコロナ前の水準を超えることが見込まれています。生産活動と企業の状況においても、世界的な半導体不足や部材の供給不足の影響があったものの持ち直しの傾向にあり、製造業・非製造業ともに増収増益の流れが予想されます。しかし、個人消費の弱さにより、回復スピードは海外に比べ緩やかになっています。

新型コロナウイルス感染症の先行き不安に加え、収入の増加が見込まれていないことが、個人消費低迷の大きな要因であります。実質賃金の継続的な上昇こそが、日本経済の自立的な回復軌道へ繋がっていききます。日本の賃金水準は1997年をピークに低下傾向にあり、実質賃金は下降しており、さらにコロナ禍により、経営基盤の弱い中小企業や不安定な雇用労働者へ影響を及ぼしています。

連合は2022年春季生活闘争を「総合生活改善闘争」と位置づけ、国民生活の維持・向上を図るため、労働組合がけん引役となり、社会経済の構造的な問題解決に積極的な取り組みを行うことを目標に「人」と「お金」にこだわった賃上げによる分配構造の転換とサプライチェーン全体の付加価値の分配ひずみの改善に向け「未来づくり春闘」を展開していくとしており、それは今春闘の「スローガン」未来をつくる。みんなであつくる。」に込められています。

連合島根は第63回地方委員会にて、2022年春季生活闘争方針を決定しました。「人への投資」を積極的に求め、経済の好循環を起動させ、景気を自律的な回復軌道に乗せるためにも、果敢な取り組みをお願いいたします。すべての働く仲間を守り繋ぎ、社会全体の底上げをはかる運動を推し進めていきましょう。また、すべての組合は、月例賃金にこだわる闘いを進めることとし、定昇・賃金カーブ維持相当分(約2%)を確保し、「底上げ」「底支え」「格差是正」分として2%(合計4%)程度を賃上げ要求水準とすることが確認されました。最後まで強力な取り組みを推し進めるため共に頑張りましょう。

政治について、本年7月には第26回参議院議員通常選挙が施行されます。岸田政権は、昨年10月の第49回衆議院議員選挙に勝利したものの、政権運営は安全運転にとどまり自身には実態がありません。しっかりと岸田政権に対峙するためにも野党の議席を増やすことは重要な課題でもあります。選挙区・比例区ともに連合推薦候補全員の勝利を目指し、一致団結して取り組んでいきましょう。

結びに、本年は寅年でございます。「寅」という文字には「まっすぐに伸ばす、引っ張る」という意味があり、家の中で矢を両手でまっすぐに伸ばす様子を表すと言われています。

私たち中部地協は、昨年の連合島根定期大会で地協名称が変更となり、地協定期総会で名称変更を確認しスタートしました。寅の漢字のようになっすぐ上へ伸び続ける一年になることを願い、皆さんと共に連合運動を取組んで参ります。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。地協を代表しての挨拶とします。

共に頑張りましょう。

中部地域協議会 議長 岩田 宜晃



2022年春季生活闘争の取組み

- 1. 賃金要求**
 2022闘争は、すべての組合が月例賃金の改善にこだわり、それぞれの賃金水準を確認しながら、「底上げ」「底支え」「格差是正」の取組みをより強力に推し進める。
- 2. 連合島根の取組み**
 定昇・賃金カーブ維持相当分(約2%)を確保したうえで、「底上げ」「底支え」「格差是正」分として2%(合計4%)程度を賃上げ要求水準とする。
- 3. 「すべての労働者の立場に立った働き方」の改善**
- 4. ジェンダー平等・多様性の推進**
 多様性が尊重される社会の実現に向けて、性別をはじめ年齢、国籍、障がいの有無、就労形態など、様々な違いを持った人々がお互いを認め合い、やりがいを持って、ともに働き続けられる職場を実現するため、格差是正するとともに、あらゆるハラスメント対策や差別禁止に取り組む。
- 5. 「政策・制度実現の取組み」**